

令和7年度
内閣府
特命担当大臣表彰
奨励賞
茨城県推薦

ひとにやさしいうつわ開発研究会

(茨城県笠間市)

【受賞理由】

- 食に対するユニバーサルデザインという考え方のもと、学術的な視点も取り入れ、20年以上継続されている点を評価。
- 「ひとにやさしい器展」の開催、小学生を対象にしたワークショップ、大学等での講演、講習会を通して、食のユニバーサルデザインの普及・啓発に積極的に努めている点を評価。
- 茨城県歯科医師会と連携して、医師会の関連イベントにおいて、うつわの紹介・展示を行っているほか、うつわが各種コンクールにおける記念品として採用されるなど、様々な機会をとらえて工夫しながら、ユニバーサルデザインの考えを広めている点を評価。



【 団体概要 】

➤ 2001年に、「笠間焼商品開発研究会」として、発足。茨城県笠間市と歯科医師会が、「食」をキーワードとしたヘルスプロモーションを、共同プロジェクトとして実施する取組の一環として、「食べる」という行為の一連の流れにバリアを作らない「食のUD(ユニバーサルデザイン)」の考え方にに基づき、笠間焼の作品「ひとにやさしい食器」づくりに取り組んでいる。

【 功績・功労 】

- 子供向けには、食べる意欲を育てることと(例:全部食べると器の底に描かれたイラストが現れる食器)、体の成長に応じたサイズの提供に焦点を当てる一方、障害者・高齢者向けには、機能性を重視し、究極的には、障害にあわせた、特別オーダーで対応するなど、ライフステージに応じた食器を開発。
- 利用者からは、「何らかの障害があっても、家族と同じ食器で食事をするのができた」というような喜びの声があがっている。

